

会議録(要旨)

会議の名称	多摩北部都市広域行政圏協議会 令和5年度 第1回協議会
開催日時	令和5年7月20日(木) 午前10時57分から午前11時55分まで
開催場所	多摩六都科学館 2階 201会議室
出席者	小平市 小林 洋子 市長 奥村政策課長 東村山市 渡部 尚 市長 小倉企画政策課長 清瀬市 澁谷 桂司 市長(会長) 佐藤未来創造課長 東久留米市 富田 竜馬 市長 佐藤企画調整課長 西東京市 池澤 隆史 市長 佐野企画政策課長 東京都 総務局行政部 大道多摩振興担当課長 事務局 今村事務局長 鈴木次長 畠山主査 五十嵐課長代理(多摩振興総括担当) 宮下主事
議事	議案第1号 令和4年度多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について
協議事項	(1) 令和5年度多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程について
報告事項	(1) 令和4年度事業報告書について (2) 令和5年度各専門委員会への付託事項について (3) 令和5年度多摩六都フェアの日程等について (4) 新たな分野における連携について (5) 西武鉄道との関係性の構築について
会議資料	議案第1号 令和4年度 多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について 資料1 令和5年度 多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程(予定) 資料2 令和4年度 専門委員会の活動報告及び評価について 資料3 令和5年度 専門委員会への付託事項 資料4 令和5年度 多摩六都フェアの日程等について 資料5 多摩北部都市広域行政圏協議会 新たな分野における連携について 資料6 西武鉄道との関係性の構築について 令和4年度事業報告書 (参考資料) 多摩北部都市広域行政圏協議会ニュースNo. 34 作成イメージ
記録方法	発言者の発言内容ごとの要点記録
会議内容	
1 開会 会長挨拶 東京都総務局行政部多摩振興担当課長挨拶  2 議事 (1) 議案第1号 令和4年度多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について ●事務局から、議案第1号により説明 ・歳入決算額 17,204,407円、歳出決算額 15,289,175円 ・歳出は10年間で2番目に大きい。協議会Webサイトリニューアル費用(約370万円)等が要因。	

・歳入 負担金について、東京都市長会から実績額で助成を受け、西東京市からの負担金で収入したため、収入額が予算より小さくなった。

—異議なし 承認

### 3 協議事項

(1) 令和5年度多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程について

●事務局から、資料1により説明

・6月に第19期の審議会委員を委嘱した。

—異議なし 承認

### 4 報告事項

(1) 令和4年度事業報告書について

●事務局から、令和4年度事業報告書、資料2により説明

・「専門委員会報告」は、令和4年度第3回協議会の説明から大きな変更がないことから、資料2の「評価・次年度に向けて」を令和4年度の最終評価とする。  
・多摩六都フェアは、新型コロナウイルスの影響で1つ中止となった。  
・協議会Webサイトをリニューアルし、1月31日に新規公開した。ページ閲覧の総数は、影響のない令和2年以前と比べ増加傾向。内容を見直した「協議会について」、「スポーツ施設の相互利用」などで増

—質疑なし

(2) 令和5年度各専門委員会への付託事項について

●事務局から、資料3により説明

・各委員長（小平市）宛付託済。委員長と協力し「多摩六都広域連携プラン」の取組を進める。

●意見

（東村山市 渡部市長）

・広域行政圏での情報推進の進め方について。これまで、小平市・東久留米市・東村山市の3市共同クラウド化など一定の成果を上げてきた。今後は、全国統一の標準化・共通化が課題で、都と区市町村による「GovTech東京」の設立や、東京都市長会でも研究を進めている。5市で共同事業化できることや続ける意味を専門委員会で検討し、今後の方向付けをするべき。

（事務局次長）

・情報推進専門委員会でも、全国や東京都市長会の取組と重複するとの意見がある。専門委員会で検討する。

(3) 令和5年度多摩六都フェアの日程等について

●事務局から、資料4により説明

・9つのイベントの日程・開催場所。令和5年度は全イベントが開催予定

—質疑なし

(4) 新たな分野における連携について

●事務局から、資料5により説明

・令和4年度第2回協議会での報告の続報。文化芸術・多文化共生の2分野について、各市担当課の意見を聞いて幹事会で検討した。

・文化芸術分野は、文化芸術施策と文化施設における5市の相互協力を目的に実務者連絡会を立ち上げる。多摩六都フェアの文化事業、特に多摩北部5市美術家展の改善を当面の課題とする。

・多文化共生分野は、各市の体制や取組状況が異なること、現時点で具体的な共通課題がないことから、実務者連絡会は作らずに担当課同士の意見交換から始めることとする。

・西東京市担当課で具体的な調整を進める。

—質疑なし

(5) 西武鉄道との関係性の構築について

●事務局から、資料6により説明

- ・イベントを通じて西武鉄道と関係性を築いていく。
- ・渡部市長から情報提供あった多摩川流域連携自治体の広域の取組を幹事会で共有した。これらも参考に幹事会で検討していく。

●意見

(東村山市 渡部市長)

- ・東京都市長会の会長として多摩川流域の首長の集まりに招かれた。鉄道会社の社長らも参加し、トップ同士の意見交換に刺激を受けた。
- ・圏域5市はいずれも西武鉄道の沿線自治体で、地域の持続的な発展には鉄道との関係が不可欠。沿線全体の魅力や価値を高めることが各市にとって重要である。今後も広域行政圏を中心に議論し、場合によって区部や所沢市等も含めて考えて、アプローチしてほしい。

(事務局)

- ・幹事会に伝え、検討する。

5 その他

●協議会ニュースNo. 34の発行について、事務局から、参考資料により説明

- ・9月3日(日)発行予定。新聞折込で20万部弱、窓口でも配布する。現在原稿を作成中。

—質疑なし

●多摩東京移管130周年記念イベントについて、事務局から説明。

- ・イベント「超たまらん博」は令和5年10月28日(土)・29日(日)の2日間開催。各市ブースと別に広域行政圏協議会としてブースを出す。産業・観光振興専門委員会で検討中。多摩六都科学館にも声掛けしている。

(大道多摩振興担当課長)

- ・130周年記念イベントへの出店を感謝する。広域の取組をPRする機会に使ってほしい。

6 閉会